

介護技術の習得を評価する方法

- ・介護実技演習科目の評価は、介護実技の確認とレポート提出にて行い、70点以上で合格とする。
- ・介護実技演習は、演習担当講師の観察等により行い、以下の各項目について評価する。
- ・介護実技演習の視点は、安全・声かけ・正しい順序・自立支援の視点、を確認する。
- ・レポートは、前項の視点に即した内容を確認し、適否を判定する。

■生活と家事

清掃

基本的な清掃手順や用具が理解できる

調理

栄養面の知識があり、調理手順が理解できる

洗濯

衣類の種類と洗濯時の注意事項が理解できる

生活援助

生活援助の視点を理解し、援助における正しい所作・マナーで対応できる

■快適な居住環境整備と介護

住環境

住環境の特性を理解し、必要な整理ができる

福祉用具

基本的な福祉用具の種類・用途が理解できる
基本的な福祉用具の使用方法がわかる

■整容に関連した介護

更衣介助

適切な衣服の選択ができる（いえる）
健側から脱ぎ、患側からきる事が出来る
手順をふまえ、安全な入浴介助が出来る
羞恥心に配慮し声掛けをすることが出来る

口腔ケア

準備が出来る
歯磨きの介助・義歯の手入れが出来る

清拭

身体状況を確認できる
必要物品の準備・片付けができる
安全、安楽、羞恥心を配慮できる
手順にそって清拭が出来る
湯の温度、室温を適切に保つ事が出来る
手浴、足浴が出来る

■食事に関連した介護

食事介助

食事の準備・観察・後始末が出来る
安全、好みに配慮した食事介助が出来る

■死にゆく人に関連した終末期介護

終末期の介護のあり方を理解し、基礎的な介護観と終末期の身体的特徴が理解できる

■移動・移乗に関連した介護

移乗

車椅子の安全点検・利用者の安全配慮が出来る
ベットから車椅子、車椅子からベットへ安全に移乗できる
車椅子で坂道を下りることが出来る

移動

段差や坂道等、移動（歩行・車椅子介助）が出来る

■入浴、清潔保持に関連した介護

入浴介助

入浴前の心身の状態を観察出来る
適切な衣服の選択が出来る（いえる）
健側から脱ぎ、患側からきる事が出来る
手順をふまえ、安全な入浴介助が出来る
羞恥心に配慮し声掛けをすることが出来る

洗髪

必要物品の準備・片付けが出来る
身体状況・室内環境を確認出来る
手順にそって安全、安楽に洗髪が出来る
髪を乾かす事が出来る

■排泄に関連した介護

排泄

カーテンを閉めるなど羞恥心の配慮が出来る
適切におむつの交換が出来る
拭き残しのないようにきれいに後始末が出来る
尿器、便器が使用できる
安楽な姿勢を保つ事が出来る

■睡眠に関連した介護

ベッドメイキング

必要物品をそろえる事が出来る
手順に沿って正しくベッドメイキングが出来る
使用後のリネン類を適切に片付ける事が出来る

体位、姿勢変換の介助

仰が位から側臥位への介助が出来る
仰臥位から端座位の介助が出来る
上方への移動が出来る

褥瘡

褥瘡のこうはつ部位、分類、予防方法が言える
介護のポイントを3つ以上が言える